

しゃ か さんそんぞう
釈迦三尊像

- ◇ 指定日 昭和54年7月24日
- ◇ 所在地 神田沢町
- ◇ 所有者 善勝寺

善勝寺のご本尊である釈迦三尊像は、中央の釈迦如来像と右の文殊菩薩像、左の普賢菩薩像からなります。釈迦如来像の光背には銘文があり、京都の仏師である駒野丹下定孝が、明和9年(1772年)に制作したものであることが記されています。

駒野丹下定孝は報恩寺（盛岡市）の五百羅漢を制作した仏師のひとりで、明和7年(1770年)には、桂林寺（花巻市大迫）の秋葉権現像を作っています。

釈迦如来像光背朱書銘

「京都幸 明和九辰仲夏
三尊并藤道唐七重舟後光

京都仏師 駒野丹下造之
奥州南部閉郡宮古浦千徳村

新造釈
善勝寺大和尚様」



像高(本体) 普賢菩薩 26cm 釈迦如来 39cm 文殊菩薩 26cm

ぜんみょうじ えづりこ
全明寺（北上市江釣子）の菩薩像、その後